

2021年3月期 第3四半期 決算の概要

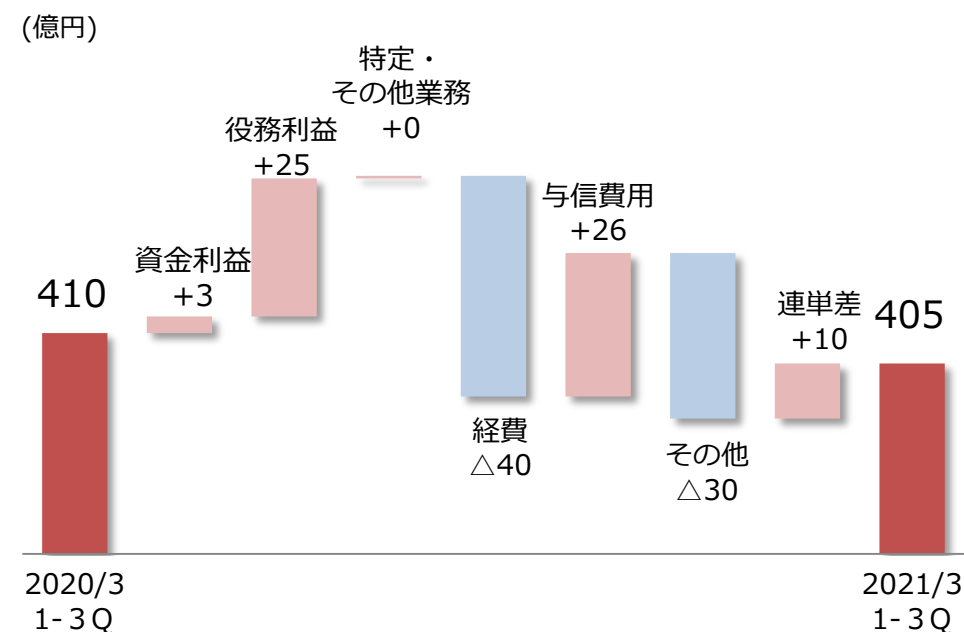
2021年2月5日
株式会社 **千葉銀行**
(東証第1部 : 8331)

業績概要

単体	(億円)	2020/3	2021/3	前年同期比
		1-3Q	1-3Q	
業務粗利益		1,154	1,184	29
資金利益		948	951	3
役務取引等利益		157	182	25
特定取引利益		16	12	△ 4
その他業務利益		33	37	4
うち国債等債券損益		20	1	△ 19
経費 (△)		606	647	40
実質業務純益		548	536	△ 11
コア業務純益		528	535	7
除く投資信託解約損益		491	497	5
一般貸倒引当金純繰入額 (△)		23	13	△ 9
業務純益		525	523	△ 1
臨時損益		31	9	△ 21
うち不良債権処理額 (△)		49	33	△ 16
うち株式等関係損益		44	44	△ 0
経常利益		556	533	△ 23
特別損益		△ 0	△ 0	△ 0
四半期純利益		400	384	△ 15
与信関係費用 (△)		73	46	△ 26
連結	(億円)	2020/3	2021/3	前年同期比
		1-3Q	1-3Q	
連結経常利益		588	581	△ 7
親会社株主に帰属する四半期純利益		410	405	△ 5

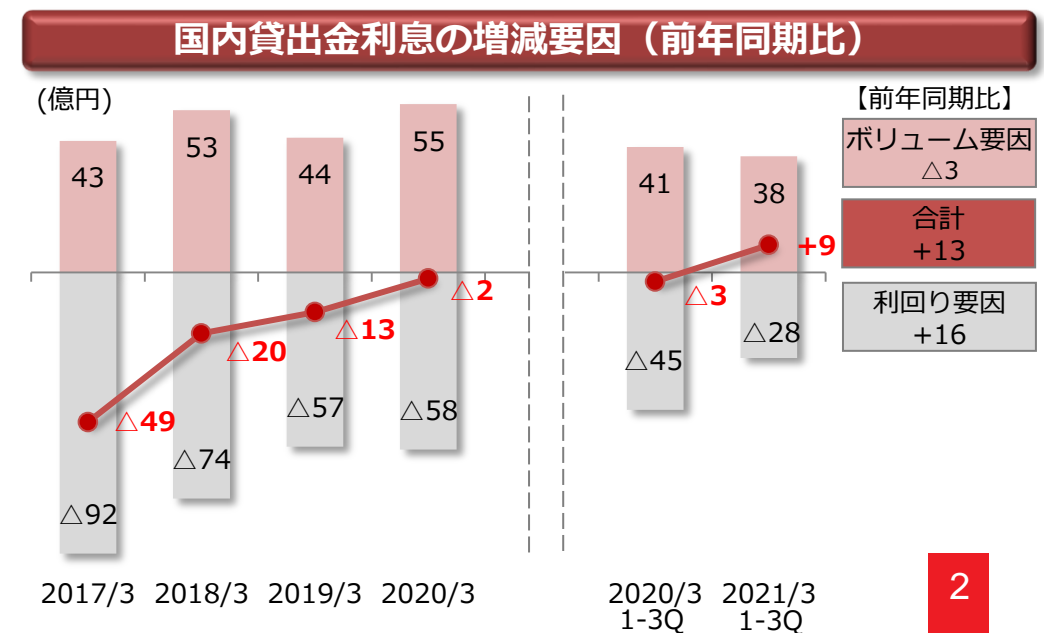
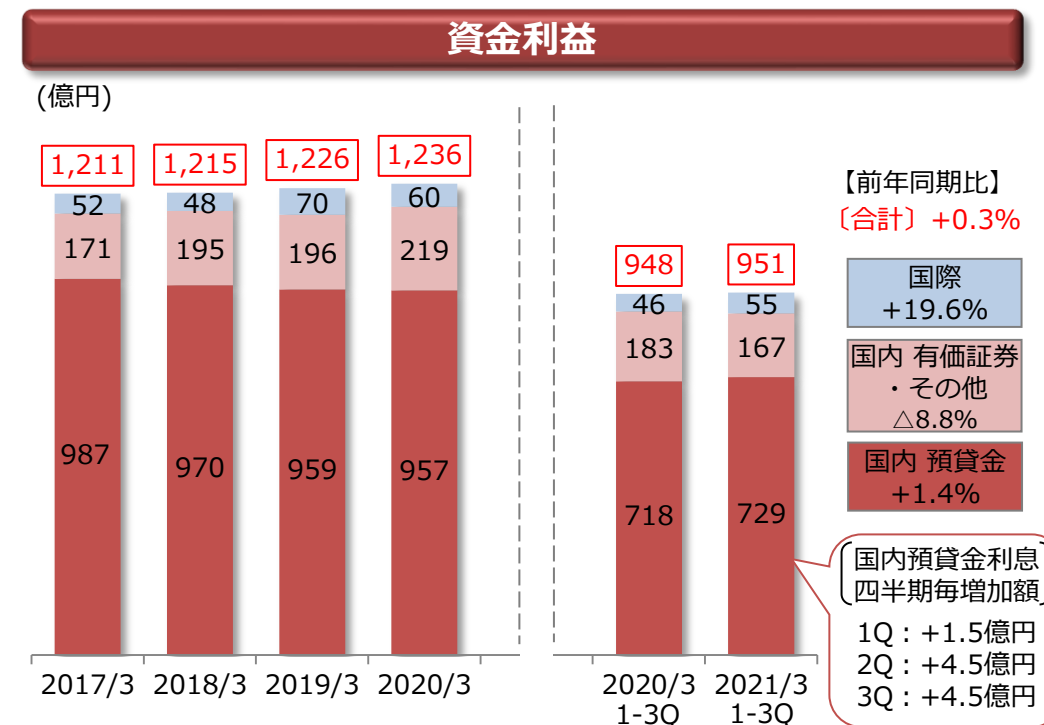
- ◆ 国内預貸金利息の増加等により資金利益が前年同期比3億円増加し、役務取引等利益も同25億円増加したことから、業務粗利益は同+29億円の増益
- ◆ 新本店ビル関連の費用計上等により経費が40億円増加したものの計画内であり、投信解約損益を除くコア業務純益は同+5億円の増益と、本業収益は好調を維持
- ◆ 与信関係費用は同△26億円と抑制
- ◆ 四半期純利益の通期計画比進捗率は、単体・連結ともに83%と順調に推移

親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因 (単体+連単差)



資金利益

(億円)	2020/3	2021/3	前年同期比
	1-3Q	1-3Q	
資金利益	948	951	3
国内資金利益	901	896	△5
預貸金利息	718	729	10
貸出金	724	733	9
預金+NCD (△)	5	4	△0
有価証券利息配当金	178	160	△18
債券	20	19	△0
株式配当金	86	81	△4
投資事業組合	8	△0	△8
投信	63	58	△4
うち解約益	34	24	△9
その他 (市場運用調達等)	4	6	2
国際資金利益	46	55	9
貸出金	102	43	△59
外国証券	99	95	△4
外国証券	87	67	△20
外貨ファンド	9	13	3
投信	2	15	12
うち解約益	1	13	11
その他 (調達、市場運用等)	△156	△83	72
資金利益 (除く投信解約益)	911	913	1
投信解約益	36	38	2

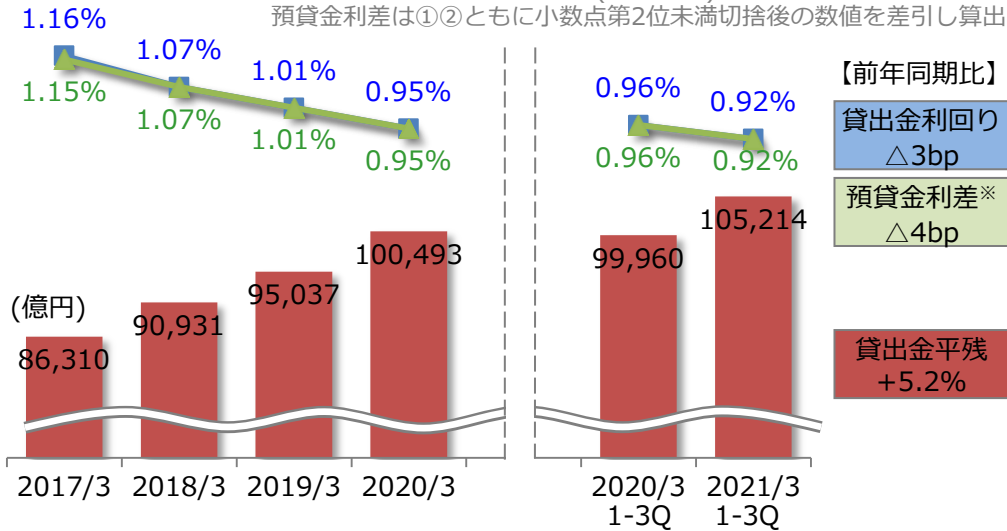


利回り・貸出金利息

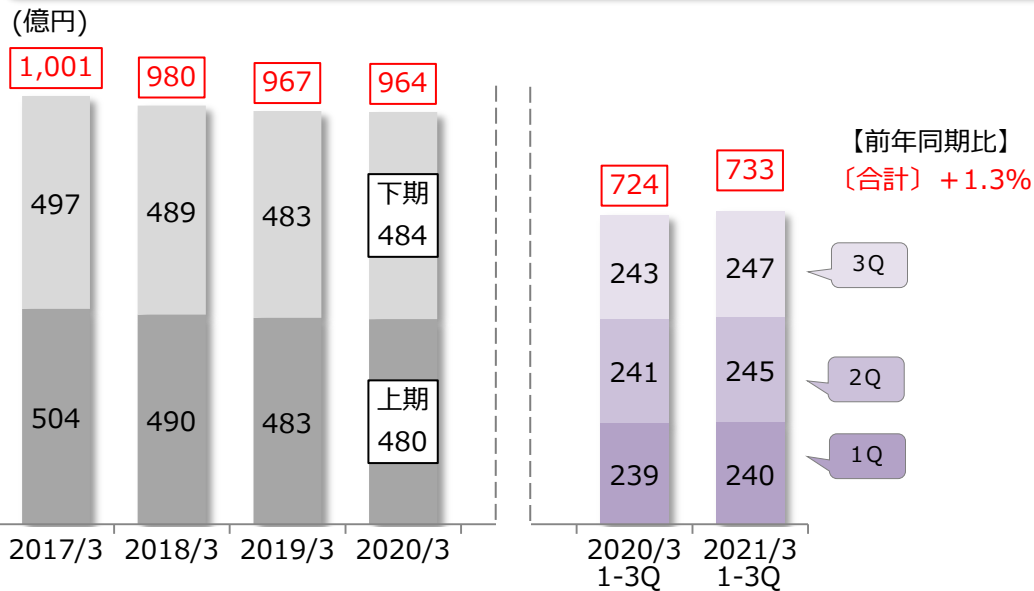
国内業務部門

貸出金平残・利回り、預貸金利差

※①貸出金利回り・②預金利回り(NCD含む)ともに小数点第2位未満切捨て、
預貸金利差は①②ともに小数点第2位未満切捨後の数値を差引し算出



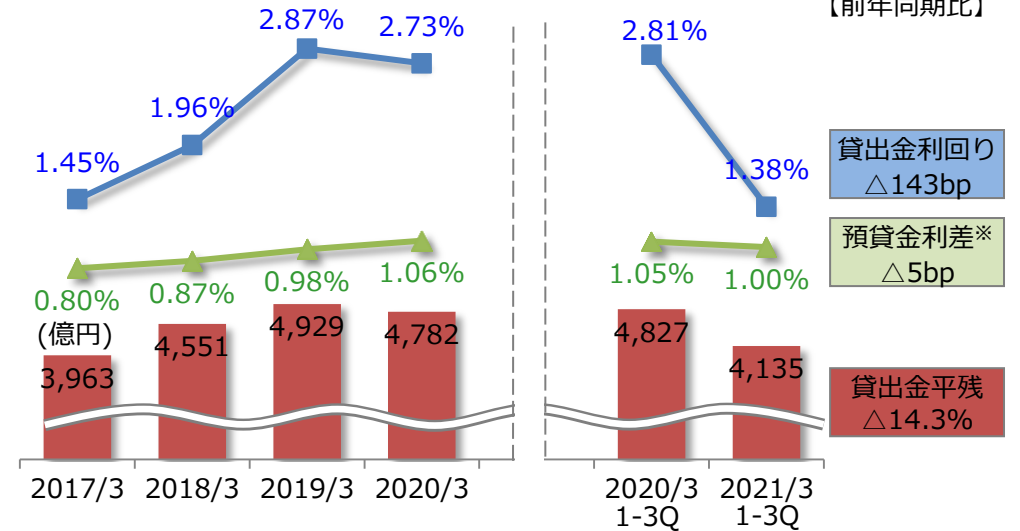
貸出金利息



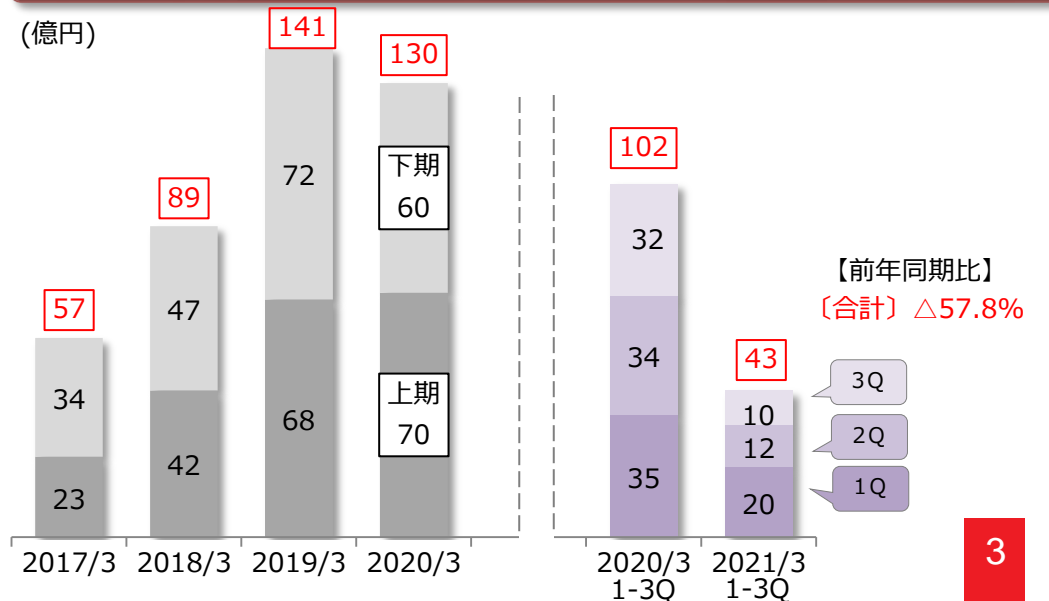
国際業務部門

貸出金平残・利回り、預貸金利差

【前年同期比】

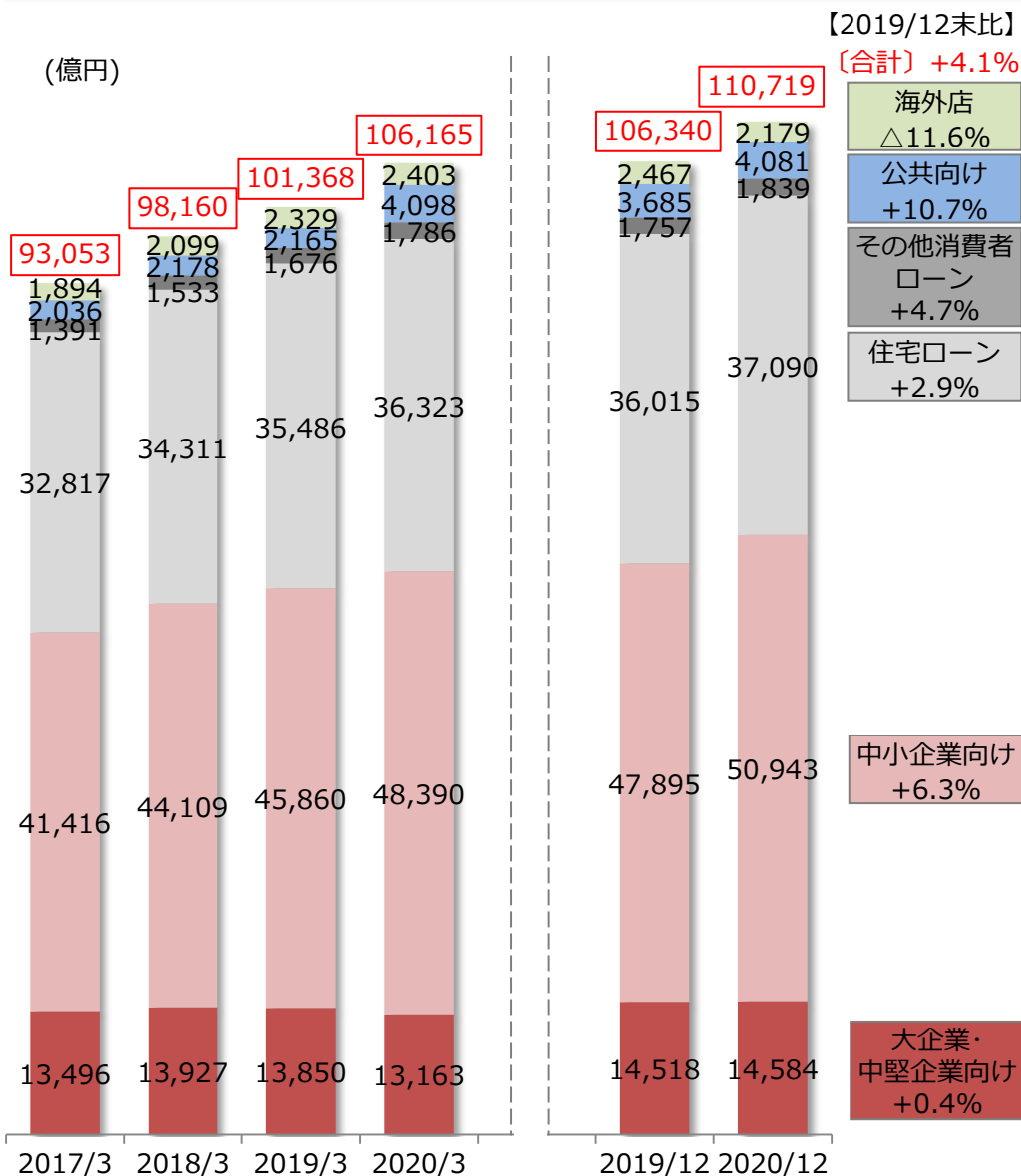


貸出金利息

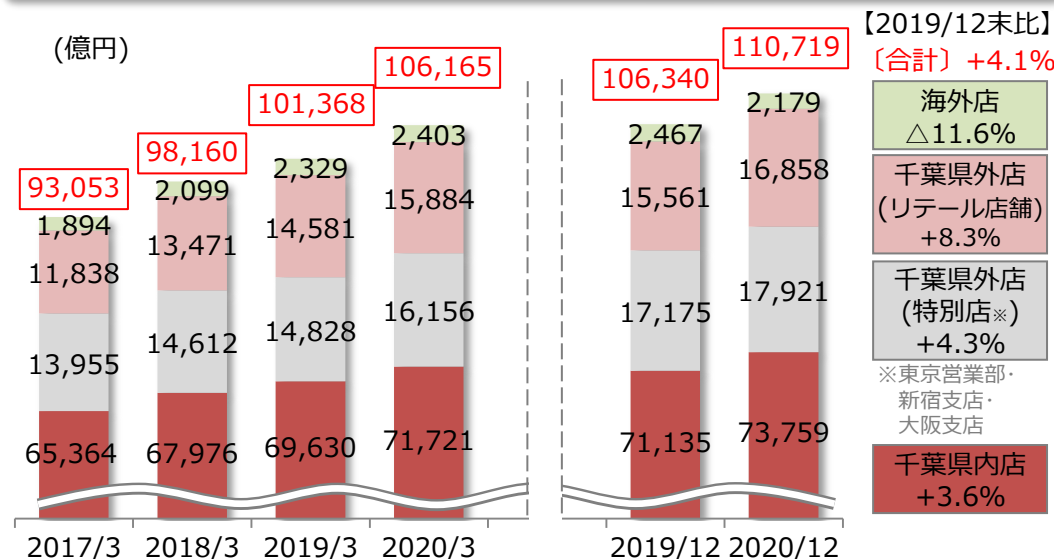


貸出金・預金

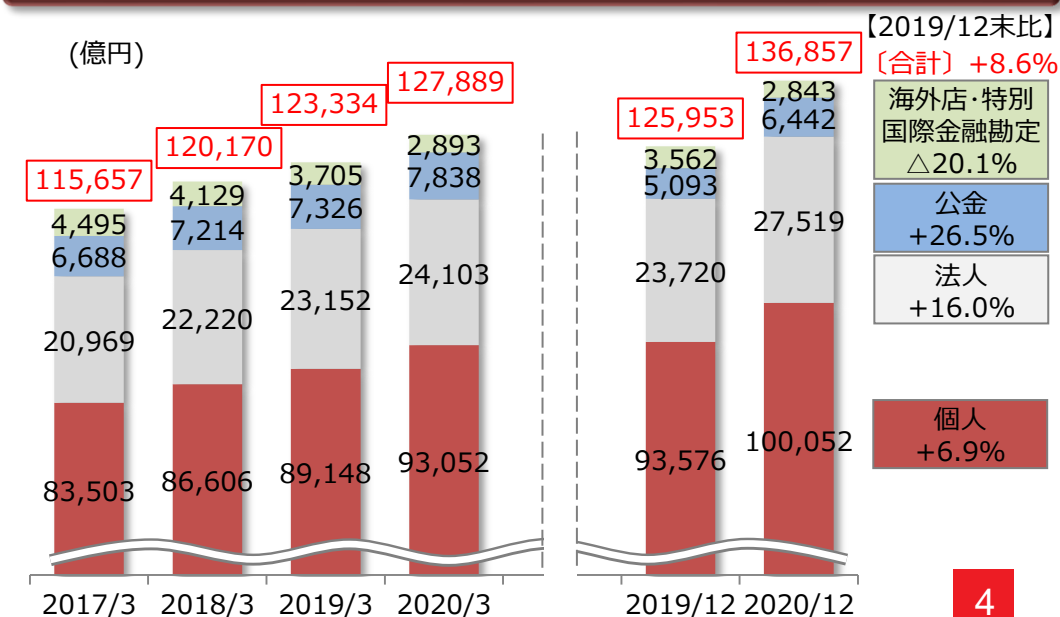
貸出金末残



貸出金末残 (エリア別)



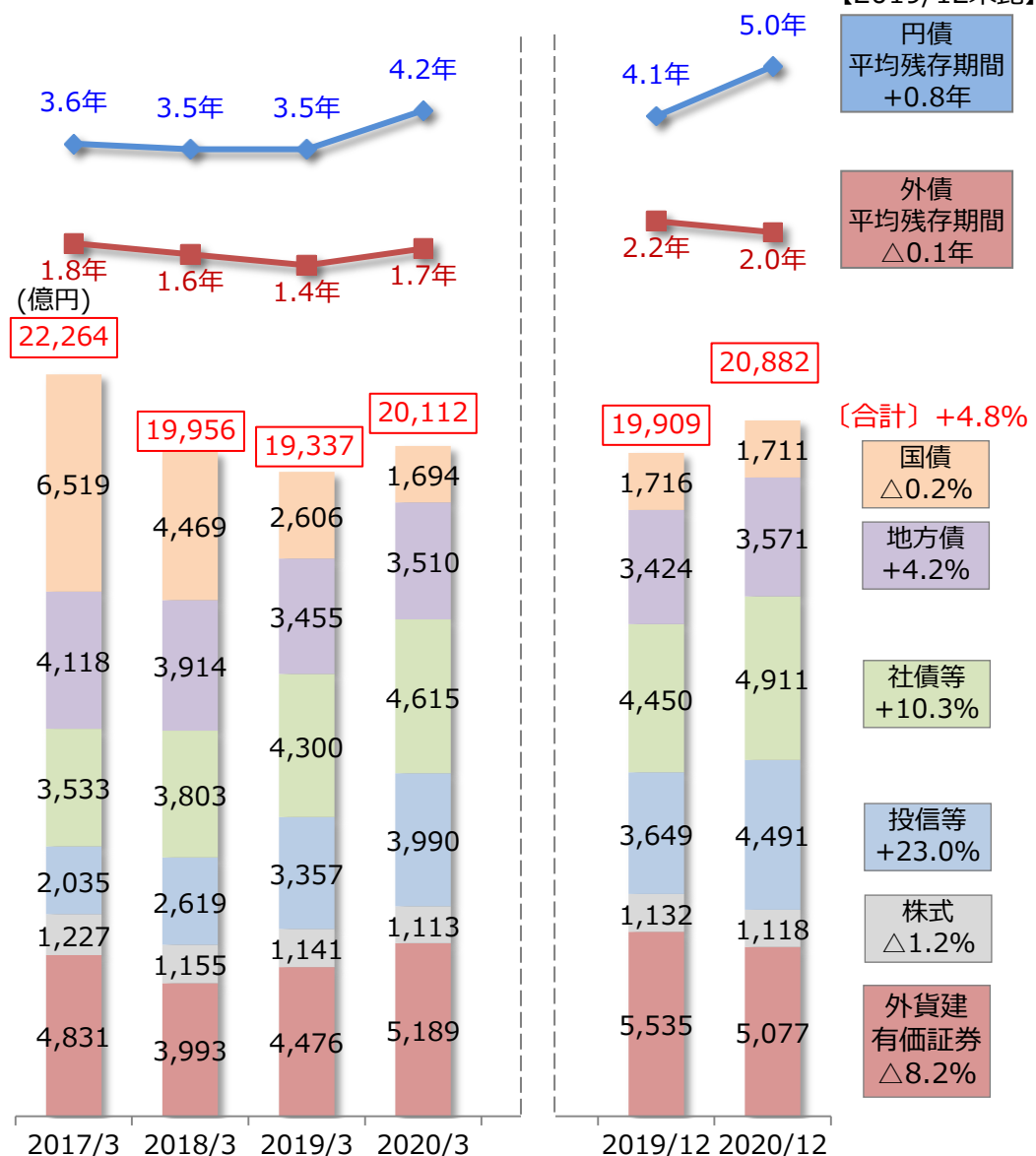
預金末残



有価証券

有価証券末残※1・平均残存期間※2

※2 平均残存期間はアセットスワップ考慮後のベース



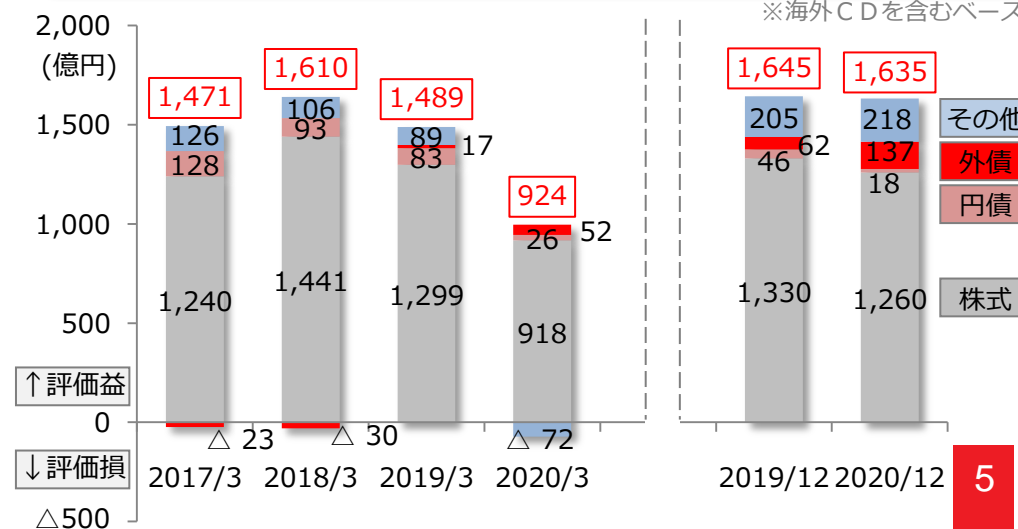
※1 末残は評価損益を除くベース

有価証券関連損益

(億円)	2020/3	2021/3	前年同期比
	1-3Q	1-3Q	
有価証券利息	278	256	△ 22
債券	107	86	△ 20
国内業務部門	20	19	△ 0
国際業務部門	87	67	△ 20
株式	86	81	△ 4
投信等	84	87	2
うち投信解約損益	36	38	2
国債等債券損益	20	1	△ 19
うち売却益	27	15	△ 12
株式等関係損益	44	44	△ 0
うち売却益	45	46	1

その他有価証券評価損益

※海外CDを含むベース



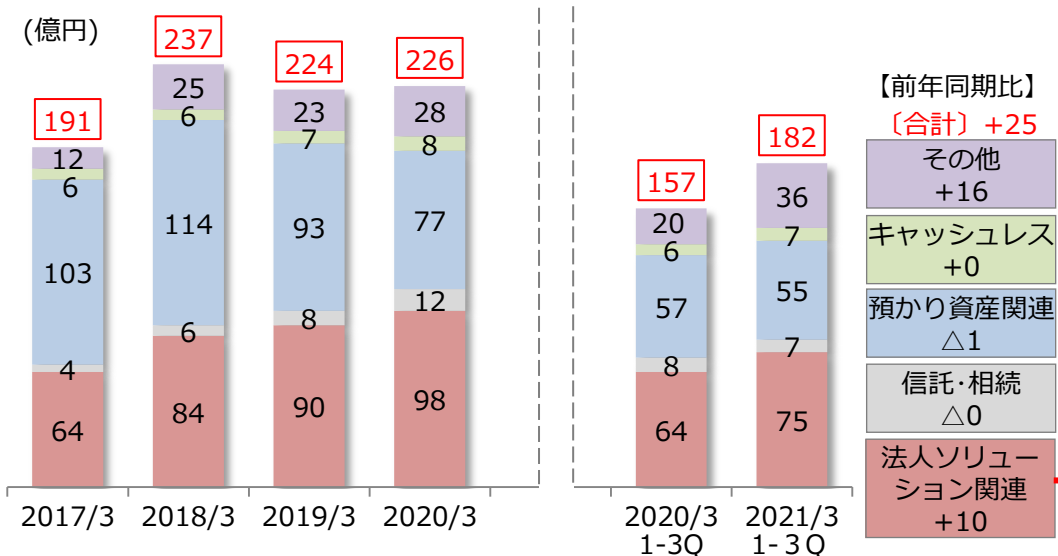
役務取引

(億円)	2020/3	2021/3	前年同期比
	1-3Q	1-3Q	
役務取引等利益	157	182	25
役務取引等収益	313	319	5
役務取引等費用 (△)	156	136	△ 19

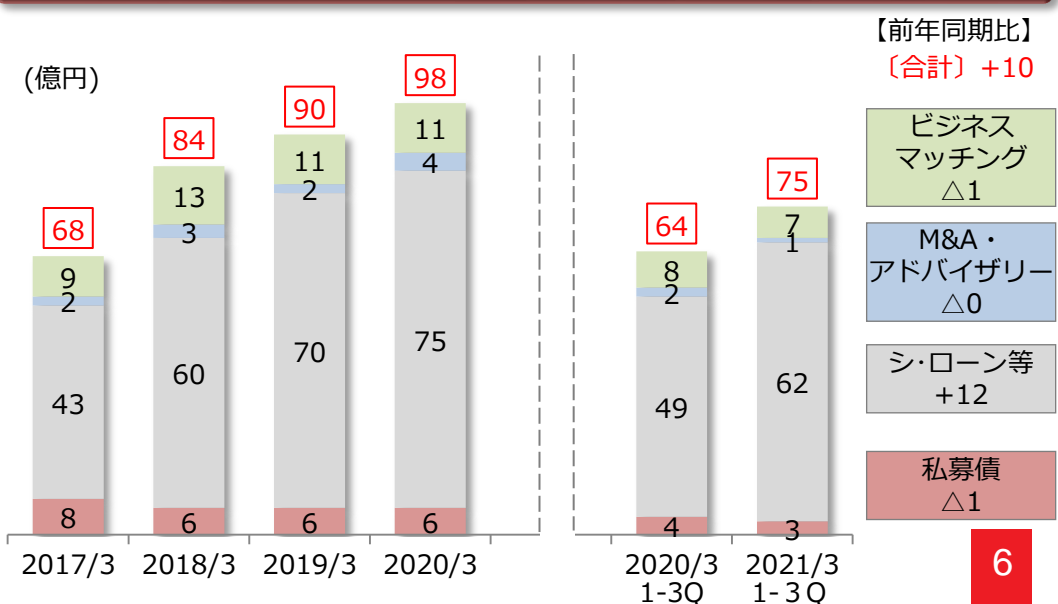
<主な内訳>

うち預かり資産関連	57	55	△ 1
うち投信手数料	20	25	4
うち年金・一時払終身保険手数料	11	9	△ 1
うち平準払保険手数料	19	15	△ 4
うち金融商品仲介手数料	4	5	0
うち法人ソリューション関連	64	75	10
うち私募債	4	3	△ 1
うちシ・ローン等	49	62	12
うちM&A・アドバイザー手数料	2	1	△ 0
うちビジネスマッチング手数料	8	7	△ 1
うち信託・相続関連	8	7	△ 0
うちキャッシュレス関連	6	7	0
うち為替関連	96	99	3
うちローン支払保険料・保証料 (△)	107	88	△ 19

役務取引等利益

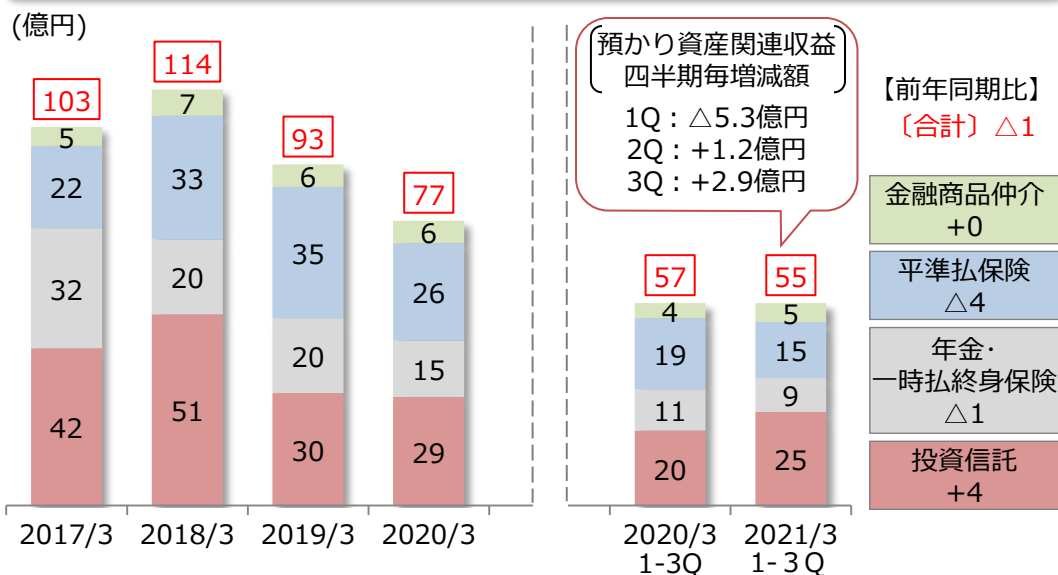


法人ソリューション関連収益

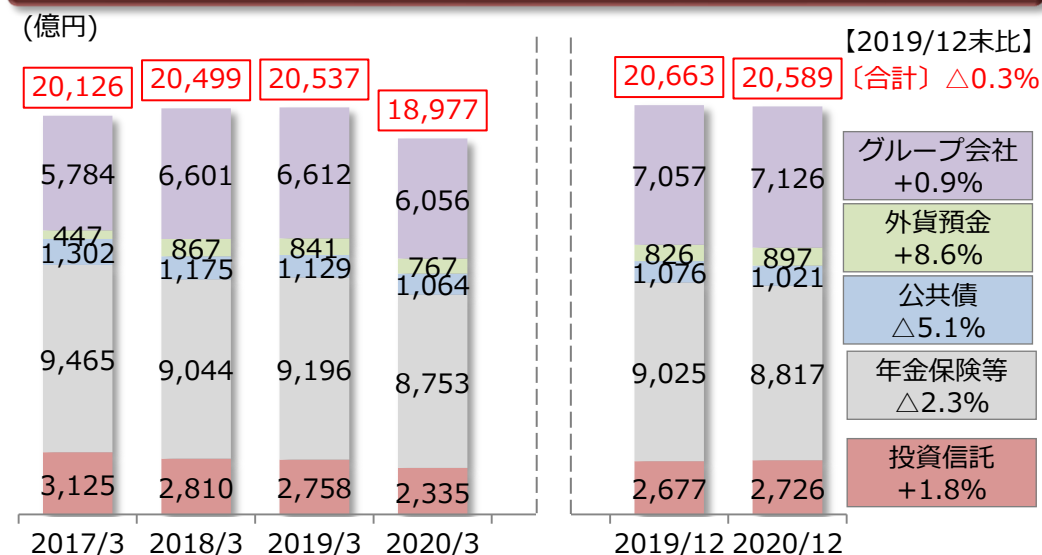


預かり資産

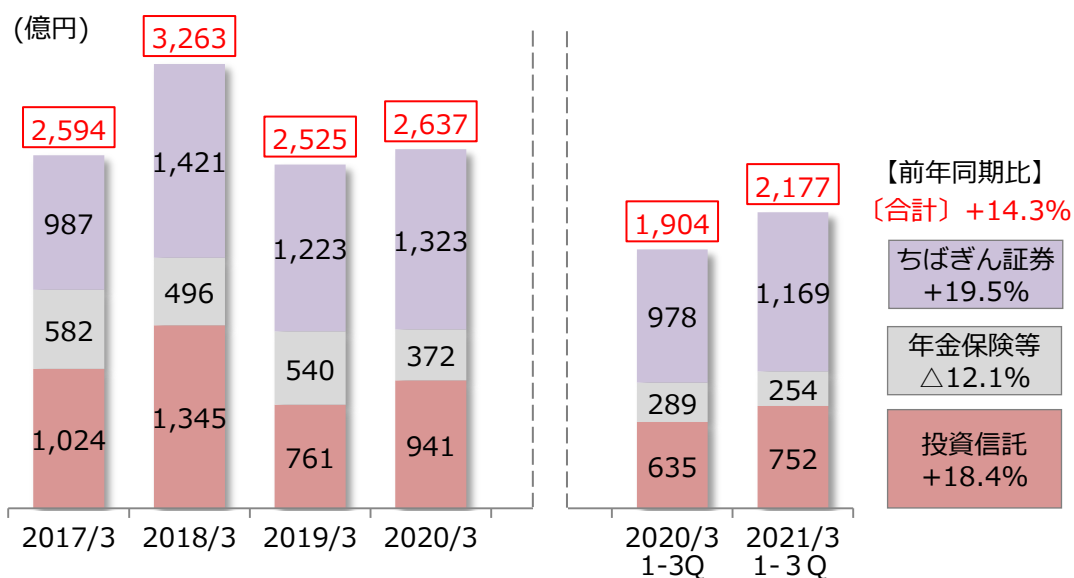
預かり資産関連収益



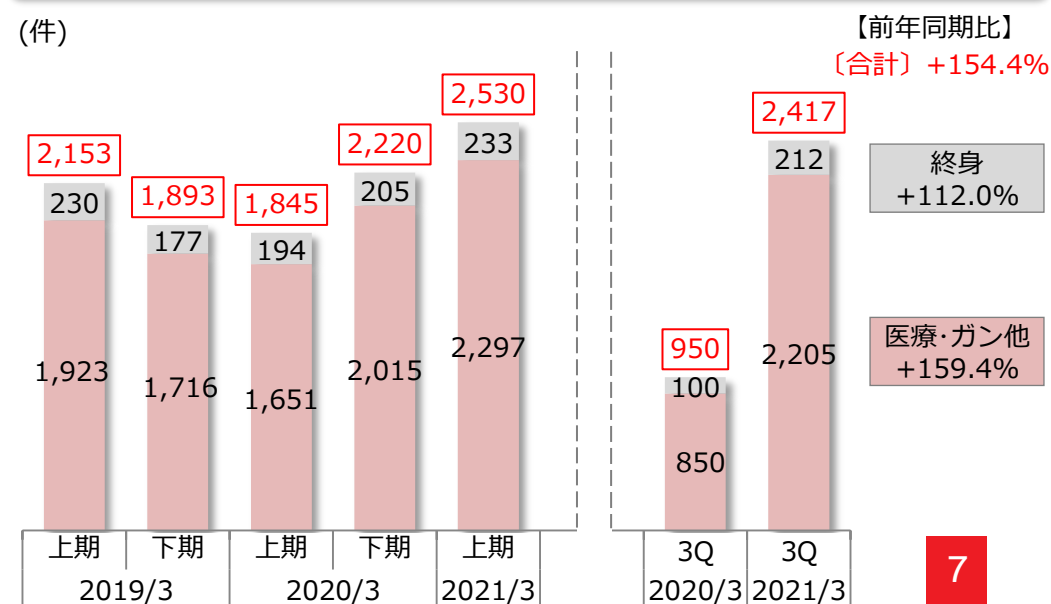
預かり資産残高 (グループ合計)



預かり資産販売額 (グループ合計)



保障性保険 取扱件数

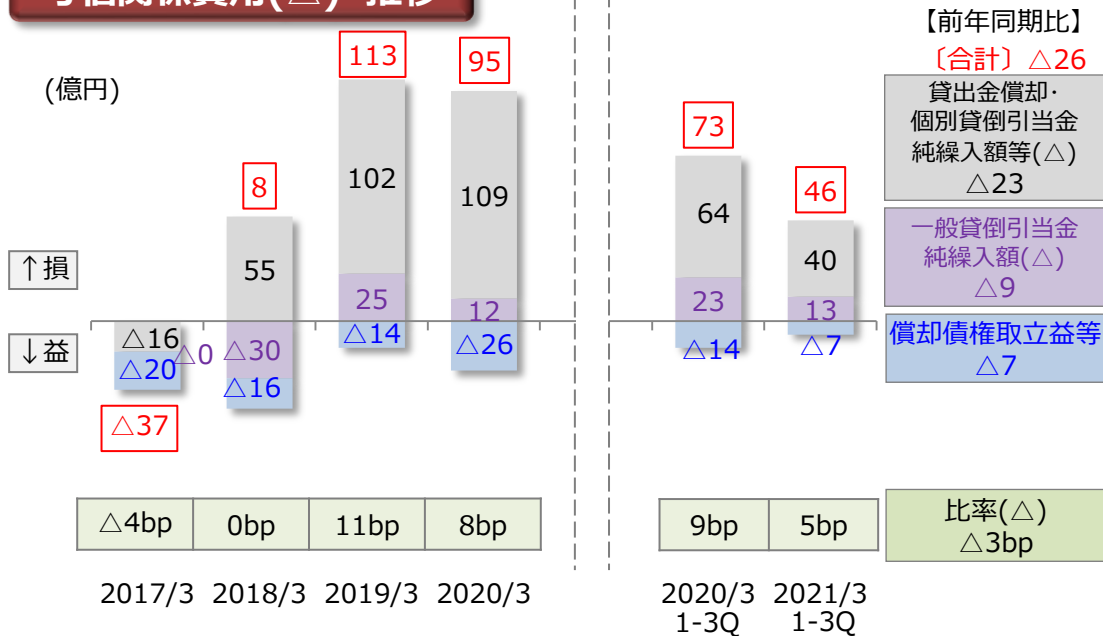


与信関係費用・金融再生法開示債権

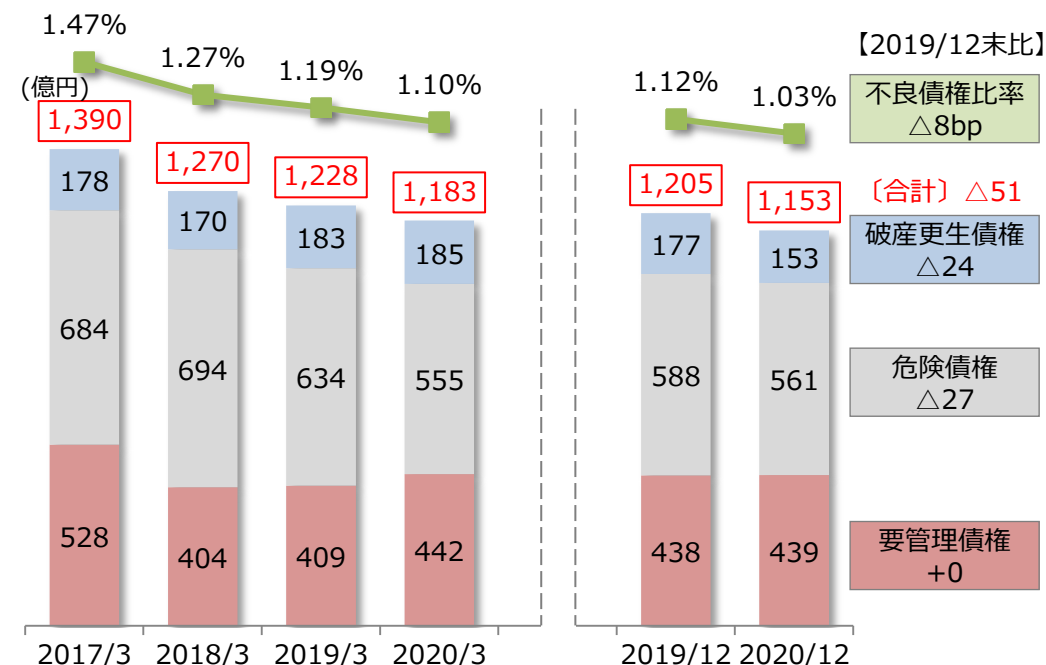
与信関係費用

(億円)	2020/3	2021/3	前年同期比
	1-3Q	1-3Q	
与信関係費用 (△)	73	46	△ 26
一般貸倒引当金純繰入額 (△)	23	13	△ 9
不良債権処理額 (△)	49	33	△ 16
貸出金償却・個別貸倒引当金純繰入額等 (△)	64	40	△ 23
うち新規発生 (△)	68	44	△ 23
うち既先 (△)	5	3	△ 1
うち回収等	8	7	△ 0
償却債権取立益	14	7	△ 7
与信費用比率 (△)	9bp	5bp	△3bp

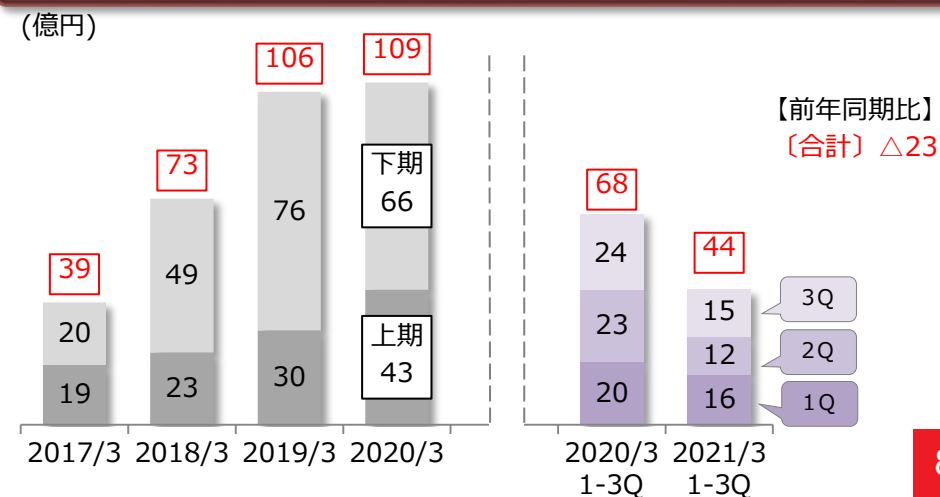
与信関係費用(△) 推移



金融再生法開示債権・不良債権比率



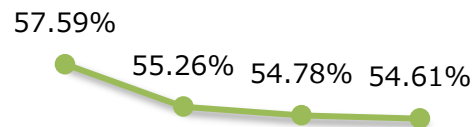
不良債権 新規発生



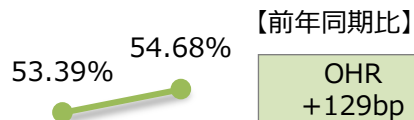
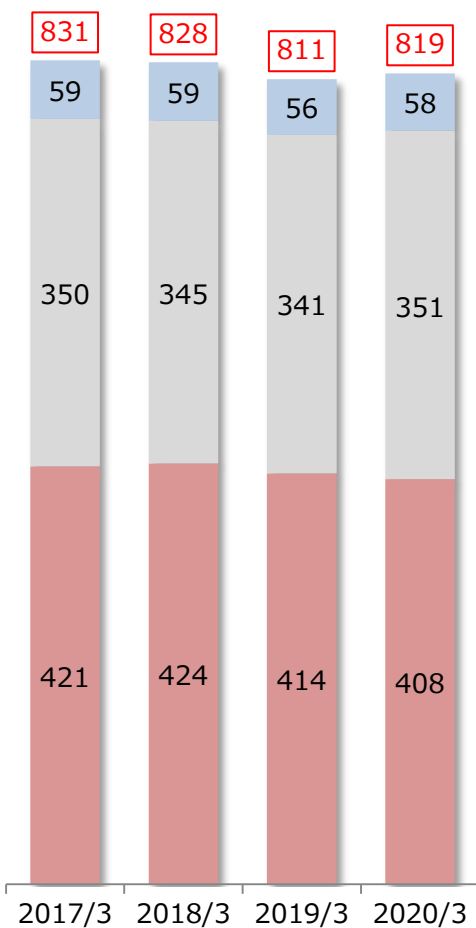
経費・自己資本比率

経費・OHR

※ OHR：経費÷（業務純益－債券関係損益等＋一般貸倒引当金純繰入額＋経費）



(億円)



【前年同期比】

OHR
+129bp

【合計】+6.6%

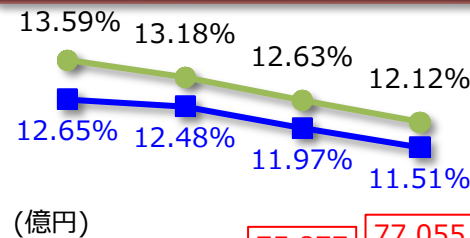
税金
+55.7%

物件費
+7.0%

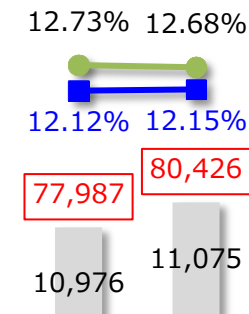
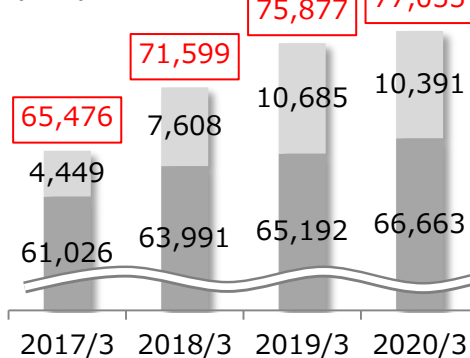
人件費
△0.4%

2020/3 1-3Q
2021/3 1-3Q

連結 自己資本比率・リスクアセット額



(億円)



【2019/12末比】
総自己資本比率
△5bp

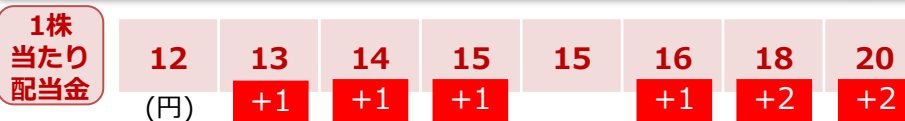
CET1比率
+3bp

リスクアセット
合計額
+3.1%

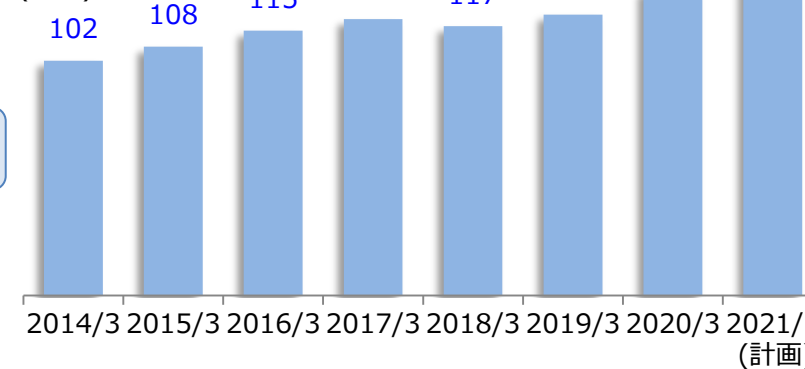
フロア調整

リスクアセット
(フロア調整
加算前)

株主配当



(億円)



配当
総額

子会社の状況

【連結子会社】

(億円)

会社名	事業内容	出資割合 (間接含む)	利益項目 (子会社間配当控除後)	2020/3	2021/3	前年同期比
				1-3Q	1-3Q	
ちばぎん証券	株式・債券・投資信託などの金融商品を取り扱う証券業務を行っています。	100%	経常利益	7	12	4
			当期純利益	5	8	3
ちばぎんリース	OA機器・車両・産業機械・店舗機器・医療機器・リサイクル機器などのリース業務を行っています。	100%	経常利益	5	11	5
			当期純利益	3	7	3
ちばぎん保証	住宅ローン・カードローンなどの保証業務のほか、売上代金・各種料金・会費などを回収する集金代行業務を行っています。	100%	経常利益	40	46	5
			当期純利益	26	29	3
ちばぎん ジェーシービーカード	JCBブランドのカード業務や信用保証業務などを行っています。	100%	経常利益	6	7	0
			当期純利益	4	4	0
その他5社 合計	—	100%	経常利益	4	5	0
			当期純利益	3	3	0
合計			経常利益	65	82	16
			当期純利益	43	54	11

【持ち分法子会社】

5社 合計	持ち分法に応じた 当期純利益	2	1	△ 1
-------	-------------------	---	---	-----

親会社への配当(△)	36	35	△ 1
連単差 ※	9	20	10

※未実現利益等の調整後

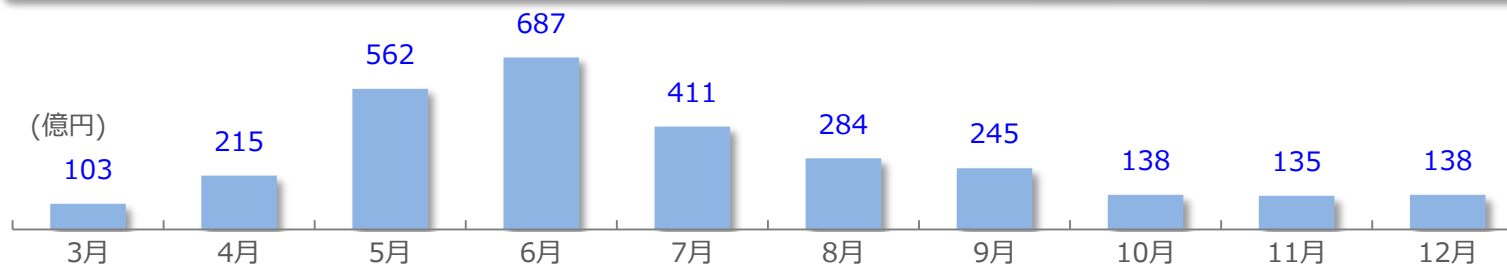
(参考) コロナ影響①

コロナ関連融資 取組状況

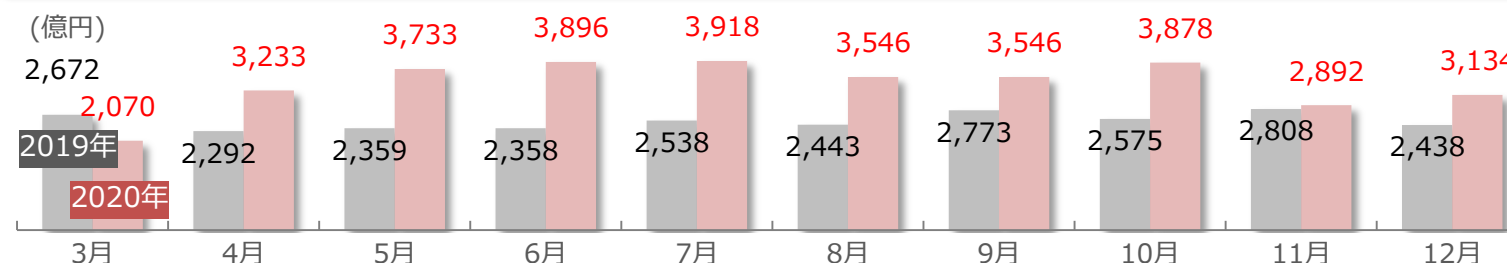
(2020年12月末時点)

	実行	
新規融資	12,774件	5,998億円
プロパー	758件	3,071億円
保証協会	12,016件	2,927億円
条件変更	975件	-
事業法人	368件	-
ローン	607件	-

コロナ関連 保証協会付融資 実行額推移



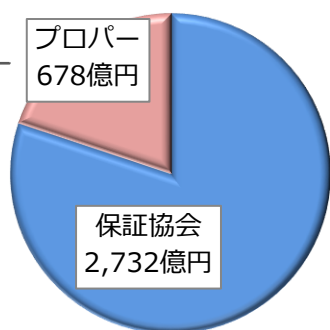
一般貸出の平残増加額 (対前年同月比)



コロナ関連融資 残高

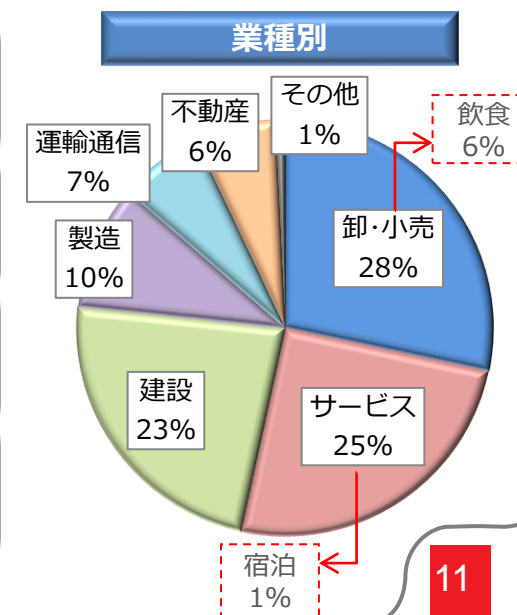
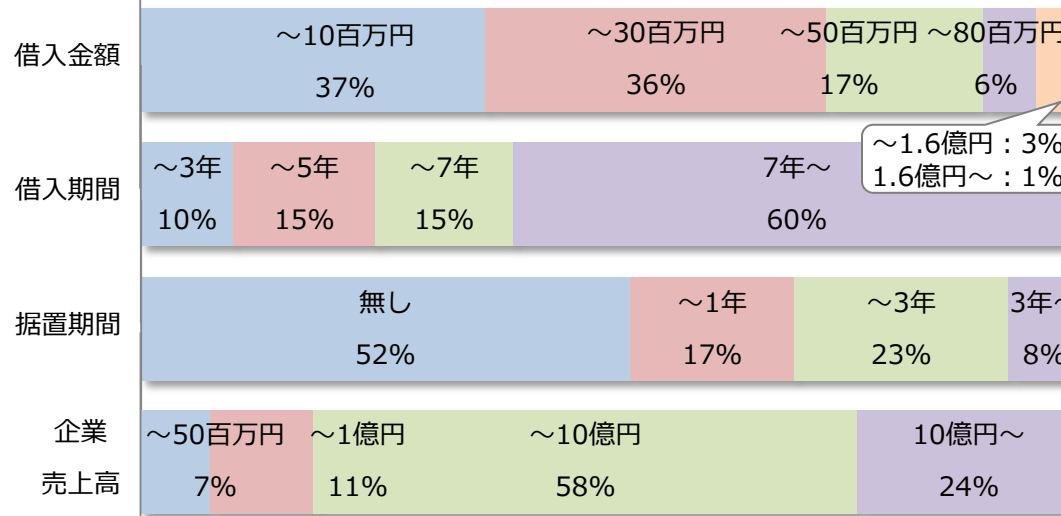
(2020年12月末時点)

※スポット貸出、当座貸越、コミットメントライン等を除く



プロパー貸出は、売上高10億円以上の企業向けが85%を占める

保証協会付コロナ関連融資の詳細



(参考) コロナ影響②

コロナ影響を勘案した与信費用の試算

(11月決算説明会時の資料のアップデート)

個社別に各要素を総合的に勘案して、対象先を特定

資金繰りの状況

コロナ前の
資金繰り状況
(経常収支
赤字先)

コロナ禍での支援の有無

コロナ禍で、
融資・条件変更
の実施先

業種

コロナ影響を
受ける業種

行内格付

現在の行内格付を勘案

「日銀短観」業種別2020年度売上高計画(前年度比)

日銀短観データを用いて、業種毎の影響度を精緻化

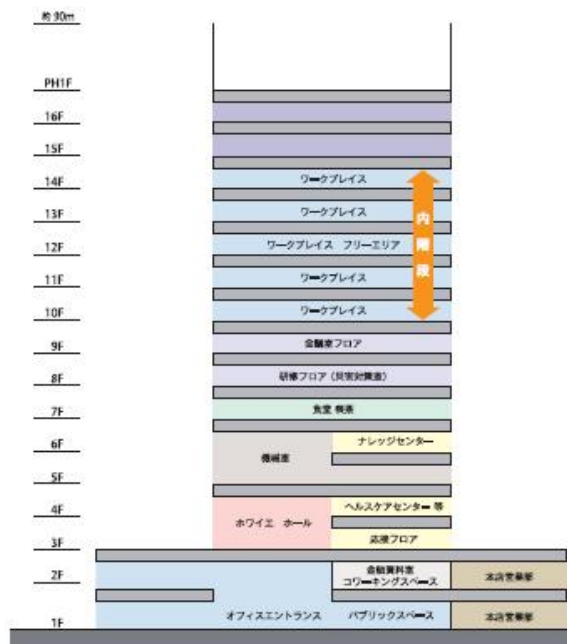
業種別 コロナ影響	当行貸出に 占める割合
大 宿泊・飲食	1%
中 売上高計画が、全産業平均を下回る業種	11%
小 売上高計画が、全産業平均を上回る業種	88%

業種別 コロナ影響	コロナ影響度	
	1年目(21/3期)	2年目(22/3期)
大	影響大	影響大
中	影響大	一定の影響
小	一定の影響	無し

(億円)

一般貸倒引当金純繰入 + 新規発生額	実績・ 計画	試算 結果	
1～3Q (実績)	57	—	
4Q (見込み)	42	41	4Q見込み額と同程度
2021/3期 (見込み)	100	—	
2022/3期 (見込み)	—	94	2021/3期通期の見込み額 100億円と概ね同程度

(参考) 新本店ビル①



ちばぎん本店ビル/建築概要

敷地面積	24,992.98㎡
建築面積	6,595.80㎡
延床面積	46,878.25㎡
構造	鉄骨造 (免震構造)
規模	16階 塔屋2階
竣工	2020年9月
設計監理	株式会社日建設計
施工	清水・大成・新日本・旭共同企業体



新しい時代に颯爽と帆を立て、
「ちばぎん本店」が生まれ変わりました。

大海原を進む帆船をモチーフとした「ちばぎん本店ビル」。
それは「既存の銀行の枠組みを超え、
新たな金融企業グループとして未来に歩みを進める」という
私たち「ちばぎん」の強い想いを表現しております。



みなさまと一緒に
新しい一歩を

2020年9月30日
ちばぎん本店ビル完成



株式会社 千葉銀行
〒260-8720 千葉県千葉市中央区千葉港1-2
<https://www.chibabank.co.jp>

(参考) 新本店ビル②

ちばぎん本店ビルは最新の技術と設備で、働きやすさ、最高ランクの安全性、環境性能を実現。
地域に開かれたちばぎん本店ビルをご覧ください。

地域社会との共生

金融資料室など、地域のお客さまとの新たな交流拠点となる施設を設置しました。



ちばぎん金融資料室～FinTERRACE～
金融資料室がフィンテラスとして生まれ変わりました。当行と金融の歴史や目覚ましい発展を遂げてきた千葉県姿を紹介しています。



ちばぎんワーキングスペース～PORT～

地域のスタートアップ企業支援、企業同士の共創コミュニティやビジネスマッチングの場を提供します。



大ホール

演奏も行える大ホールを設置しました。非常時には1Fのメインエントランスと大ホール前のロビーを一時滞在施設として提供します。

働き方改革による生産性向上

機能的かつコミュニケーションが活性化する執務環境を整備しました。



12階は誰でも使えるフリーエリアを設置

ワークプレイスの中心階である12階には誰でも自由に使用できるフリーエリアを設置。プロジェクトや気分に合わせて働く場所を選ぶことができます。



ワークプレイス

執務フロアではグループ毎のフリーアドレスを採用。デスクの配置はフロア内で交流が生まれる「ヘキサゴングリッド」。中央には各階をつなぐ内階段を設置しました。



ナレッジセンター

職員が知見を深められるよう、約1万冊の書籍を収蔵できるナレッジセンターを設置。併設するサービスカウンターでは集約した文具や備品の貸出を行います。

BCPの強化

防災拠点や拠点病院と同等の耐震グレードSランクを実現いたしました。



基礎免震

震度7の揺れを震度3程度まで低減する基礎免震構造を採用しています。



液状化対策

地盤改良により、万全の液状化対策を実施しました。



災害対策室

18面マルチディスプレイを設置し、大規模災害発生時等の事業継続体制を強化しています。

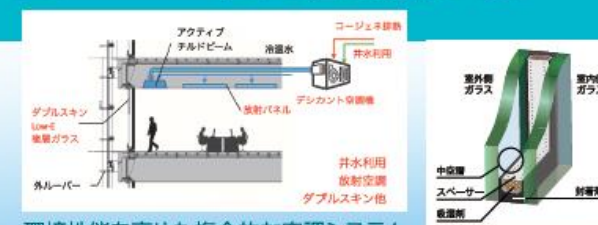


コジェネレーション発電機

非常用自家発電機に加え、ガスで発電するコジェネレーション発電機を設置し、電源の多重化を図っています。

環境への配慮

自然エネルギーを活用するとともに、省エネルギー化を促進する建物といたしました。建築環境総合評価システム(CASBEE)でSランク相当の性能を有しています。



環境性能を高めた複合的な空調システム

Low-e複層ガラス

本資料に関するご意見、ご感想、お問い合わせは
下記 I R 担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部（I R 担当）

Tel : 043-301-8459

Fax: 043-242-9121

E-Mail: ir@chibabank.co.jp

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。